

シンポニー皮下注 50mg シリンジ シンポニー皮下注 50 mgオートインジェクター

【この薬は？】

販売名	シンポニー皮下注50mg シリンジ Simponi Subcutaneous Injection 50mg	シンポニー皮下注50mg オートインジェクター Simponi Subcutaneous Injection 50mg autoinjector
一般名	ゴリムマブ（遺伝子組換え） Golimumab (Genetical Recombination)	
含有量 (1シリンジ 0.5mL又はオート インジェクター 0.5mL中)	50mg	

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗TNF製剤と呼ばれるグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、体内で異常に増えているTNF α （ティーエヌエフ・アルファ）※という物質の働きを抑えることにより、症状を改善します。

※TNF α （腫瘍壊死因子 α ）：炎症や痛みの発現に関係している体内物質です。

- ・ 次の病気の人に使用されます。

既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）

以下の場合に使用されます。

- ・ 過去の治療において、少なくとも 1 剤の抗リウマチ薬（生物製剤を除く）等による適切な治療を行っても、疾患に起因する明らかな症状が残る場合

中等症から重症の潰瘍性大腸炎の改善及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）

以下の場合に使用されます。

- ・ 過去の治療において、他の薬物療法（5-アミノサリチル酸製剤、ステロイド、アザチオプリン等）等の適切な治療を行っても、疾患に起因する明らかな臨床症状が残る場合

- ・ この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射指導を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減したりせず、医師の指示に従ってください。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者さんは以下の点について十分理解できるまで説明を受けてください。理解したことが確認されてから使用が開始されます。
- ・ この薬を使用することにより、結核、肺炎、敗血症を含む重篤な感染症および脱髄疾患（だつずいしっかん）（多発性硬化症（たはつせいこうかしょう）など）があらわれたり、悪化したりすることがあります。
- ・ この薬との関連性は明らかではありませんが、悪性腫瘍の発現も報告されています。
- ・ この薬は病気を完治させるものではありません。
- ・ この薬の使用において、重篤な副作用により、致命的な経過をたどることがありますので、副作用があらわれた場合にはただちに主治医に連絡してください。
- この薬の使用により致命的な感染症（敗血症、肺炎、真菌感染症を含む日和見感染症など）があらわれることがあります。また、結核（播種性結核（はしゅせいけっかく）および肺外結核を含む）による致命的な例も報告されています。結核に感染したことのある人では結核の症状があらわれたり悪化したりすることがあるので、結核感染の有無を確認するために、この薬を使用する前に問診および胸部レントゲン検査に加え、血液検査（インターフェロン-γ遊離試験）またはツベルクリン反応検査が行われ、場合によっては胸部CT検査などが行われます。結核に感染したことのある人、および感染が疑われる人は、抗結核薬を使用した上でこの薬を使用します。
- この薬を含め、抗 TNF 製剤により脱髄疾患（多発性硬化症など）があらわれたり、悪化したりすることがありますので、脱髄疾患の人および過去に脱髄疾患であった人はこの薬を使用できません。脱髄疾患が疑われる人や血縁に脱髄疾患の人がいる人は画像診断などの検査が行われ、この薬の使用の妥当性が検討されます。
- B型肝炎ウイルスに感染している人や、過去に感染したことのある人（HBs 抗原が陰性で、HBc 抗体または HBs 抗体が陽性の人）がこの薬を使用した場合に、B 型

肝炎ウイルスの再活性化が報告されています。B 型肝炎ウイルスの感染の有無を確認するために、この薬を使用する前に、血液検査が行われます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重篤な感染症（敗血症など）の人
- ・活動性結核（治療が必要な結核）の人
- ・過去にシンボニーに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・脱髄疾患（多発性硬化症など）の人および過去に脱髄疾患であった人
- ・うっ血性心不全の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・感染症の人または感染症が疑われる人
- ・過去に結核にかかったことがある人または結核感染が疑われる人
- ・脱髄疾患が疑われるような徴候がある人、および血縁に脱髄疾患の人がいる人
- ・重篤な血液疾患（汎血球減少症、白血球減少、好中球減少、血小板減少など）の人または過去に重篤な血液疾患になったことがある人
- ・過去に間質性肺炎になったことがある人
- ・B 型肝炎ウイルスに感染している人や、過去に感染したことがある人（HBs 抗原が陰性で、HBc 抗体または HBs 抗体が陽性の人
- ・過去にラテックスで過敏症のあった人またはその可能性がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬を自己注射するにあたって、患者さんや家族の方は危険性や対処法について十分に理解できるまで説明を受けてください。また、使用済みの注射器の廃棄方法について十分に理解できるまで説明を受けてください。

【この薬の使い方は？】

- ・この薬は注射薬です。

[自己注射する場合]

● 使用量および回数

- ・使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・通常、成人の使用量および使用回数は、次のとおりです。

[関節リウマチの場合]

- ・メトトレキサートを併用する場合

一回量	50mg
使用回数	4 週に 1 回、皮下に注射します。

*あなたの症状によっては、1 回 100mg を使用されることがあります。

なお、メトトレキサートの患者向医薬品ガイドもあります。

*3~4 回使用しても効果が得られない場合は、医師の判断により使用が中止されることがあります。

- ・メトトレキサートを併用しない場合

一回量	100mg
使用回数	4 週に 1 回、皮下に注射します。

- *この薬の単独使用はメトトレキサートが併用できない場合などに行われます。
- *3~4回使用しても効果が得られない場合は、医師の判断により使用が中止されることがあります。

[潰瘍性大腸炎の場合]

一回量	初回	2回目	以後
	200mg	100mg	100mg
使用回数	1回、皮下に注射します。	初回投与2週後に1回、皮下に注射します。	4週に1回、皮下に注射します。

- *この薬を14週使用しても効果が得られない場合は、医師の判断により使用が中止されることがあります。

●どのように使用するか？

- ・自己注射を開始する前には、必ず医師、薬剤師または看護師から自己注射の方法に関して説明を受けてください。また、末尾の「シンポニー皮下注 50 mg シリンジ・オートインジェクター 自己注射のためのガイドブック」もあわせて参照してください。
- ・注射する前に冷蔵庫から取り出し室温に戻しておいてください。
- ・この薬を激しく振らないでください。
- ・<シリンジ> 以下の3つの部位から選んで注射してください。
上腕部、腹部または大腿部
- ・<オートインジェクター> 以下の2つの部位から選んで注射してください。
腹部または大腿部
- ・*腕（上腕部）には注射しないでください。
- ・<製剤共通> 同じ箇所へ繰り返し注射することは避けてください。
- ・使用済みの注射器は、再使用しないでください。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないでください。予定日に注射できなかった場合は、医師または薬剤師に連絡し、指示にしたがってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師に連絡してください。

[医療機関で使用される場合]

●使用量および回数

- ・使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において皮下に注射されます。
- ・シリンジは上腕部、腹部または大腿部、オートインジェクターは腹部または大腿部に注射します。同一箇所へ繰り返し注射することは避けることとされています。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、免疫反応を調節する物質である TNF α の作用を抑えるので、感染症にかかりやすくなる可能性があります。感染症の危険性について医師から十分な説明を受けてください。この薬を使用する際には、人混みを避けるなど、感染源への接触を避けるようにしてください。発熱や寒気などがあらわれた場合

には、速やかに主治医に相談してください。

- ・結核を発症することがありますので、この薬を使用中は定期的に胸部レントゲン検査などが行われます。結核が疑われる症状（咳が続く、微熱、体がだるいなど）があらわれた場合には、速やかに主治医に連絡してください。
- ・B型肝炎ウイルスに感染している人や、過去に感染したことのある人がこの薬を使用した場合に、B型肝炎ウイルスの再活性化が報告されていますので、この薬を使用している間は、肝機能検査や肝炎ウイルスマーカーの定期的な検査が行われます。B型肝炎ウイルスの再活性化の症状（発熱、体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる、食欲不振など）があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・この薬を使用している間は生ワクチン[麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）、BCG など]の接種はできません。接種の必要がある場合には主治医に相談してください。
- ・この薬の注射針のカバーは乾燥天然ゴム（ラテックス類縁物質）を含むため、過去にラテックスで過敏な反応を経験したことがある人あるいはその可能性のある人では、アレルギー反応をおこすことがありますので注意してください。
- ・この薬とアバタセプト（遺伝子組換え）の併用は行わないこととされています。併用による効果の増強は示されておらず、感染症の発現率が高くなるおそれがあります。また、この薬と他の生物製剤を併用したときの安全性および有効性は確認されていないため、他の生物製剤との併用を避けることとされています。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・妊娠中にこの薬を使用した場合、お母さんから生まれた赤ちゃんが生ワクチン接種を受ける時には、接種の前に医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。
- ・患者さん自身で注射をした時に副作用と思われる症状があらわれた場合や注射を続けられないと感じた場合はただちに使用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
敗血症性ショック、敗血症、肺炎等の重篤な感染症 はいけつしょうせいショック、はいけつしょう、はいえんなどのじゅうとくなかんせんしょう	【敗血症性ショック、敗血症】 発熱、寒気、脈が速くなる、体がだるい、冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失 【肺炎】 発熱、咳、痰、息切れ、息苦しい
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、咳、息苦しい、息切れ
結核 けっかく	寝汗をかく、体重が減る、体がだるい、微熱、咳が続く
脱髄疾患（多発性硬化症、視神経炎、横断性脊髄炎、ギラン・バレー症候群等） だつずいしっかん（たはつせいこうかしょう、ししんけいえん、おうだんせいせきずいえん、ギラン・バレーしょうこうぐんとう）	【多発性硬化症】 けいれん、目を自由に動かせない、見えにくい、二重に見える 【視神経炎】 視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、目を動かすと痛い 【横断性脊髄炎】 両足のしびれ・まひ、便が出にくい、尿が出にくい、尿失禁、便失禁 【ギラン・バレー症候群】 両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、物が二重に見える、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
重篤な血液障害（汎血球減少症、白血球減少、好中球減少、血小板減少等） じゅうとくなけつえきしょうがい（はんけつきゅうげんしょうしょう、はつけつきゅうげんしょう、こうちゅうきゅうげんしょう、けっしょうばんげんしょうとう）	【汎血球減少症】 めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきからの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み 【白血球減少、好中球減少】 突然の高熱、寒気、喉の痛み 【血小板減少】 鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
重篤なアレルギー反応（アナフィラキシー様症状等） じゅうとくなアレルギーはんのう（アナフィラキシーようしょうじょうとう）	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい、動悸
ループス様症候群 ループスようしょうこうぐん	関節の痛み、発熱、むくみ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	寒気、発熱、冷汗が出る、体がだるい、微熱、むくみ、けいれん、ふらつき、寝汗をかく、体重が減る、突然の高熱、疲れやすい、体重の増加、出血しやすい、出血が止まりにくい
頭部	めまい、意識の消失
顔面	鼻血、顔面蒼白、顔の筋肉がまひする
眼	見えにくい、目を自由に動かせない、物が二重に見える、目を動かすと痛い、視力の低下、中心部が見づらい、目のかすみ、物がつかみづらい
耳	耳鳴り
口や喉	咳、痰、咳が続く、喉の痛み、歯ぐきからの出血、食べ物が飲み込みにくい、喉のかゆみ
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、呼吸が苦しい
手・足	関節の痛み、両足のしびれ・まひ、手足が冷たくなる、両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、手足の感覚が鈍くなる、脈が速くなる
皮膚	あおあざができる、じんま疹、全身のかゆみ
筋肉	階段を昇れない
便	便が出にくい、便失禁
尿	尿が出にくい、尿失禁

【この薬の形は？】

販売名	シンポニー皮下注 50mg シリンジ	シンポニー皮下注 50 mg オートインジェクター
性状	無色～淡黄色の澄明またはわずかに混濁した液	
形状		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	シンポニー皮下注 50mg シリンジ	シンポニー皮下注 50mg オートインジェクター
有効成分	ゴリムマブ（遺伝子組換え）	
添加剤	D-ソルビトール、L-ヒスチジン、ポリソルベート80	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・箱に入れたまま、光と凍結を避けて冷蔵庫（2-8℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・使用済みの注射器については、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヤンセンファーマ株式会社

(<https://www.janssen.com/japan>)

メディカルインフォメーションセンター

電話（フリーダイヤル）：0120-183-279

（土・日・祝日・会社休日を除く）

販売元：田辺三菱製薬株式会社

(<https://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

（土・日・祝日・会社休業日を除く）

シンポニー®皮下注 50 mgシリンジ・オートインジェクター
自己注射のためのガイドブック

注射の前に

●シンポニー®の保管方法



医療機関で受け取ったお薬は
注射をするときまで
ケースごと必ず冷蔵庫で保管してください。

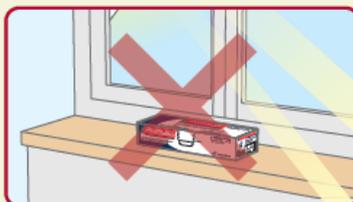
チルド室には保管しないでください。
お薬が入ったケースが冷蔵庫に保管されていることを
ご家族など冷蔵庫を開ける方に伝え、ケースをさわったり
取り出したりしないように伝えておきましょう。



●注意点



凍結を避け冷蔵庫(2~8℃)で保管して
ください。



直射日光のあたる場所に放置しないで
ください。



お子さまの手が届かない場所に保管し、
手を触れないように指導してください。

5

●注射に必要なもの

シンポニー®の注射に必要な備品は、注射する前に用意してください(詳細はP9、23)。
2本注射する場合は、シリンジとオートインジェクターは併用しないでください。

もしくは

お薬(シンポニー®)

アルコール消毒綿

もしくは

自己注射準備マット

もしくは

使用済みシリンジやオートインジェクターを
廃棄するための容器(医療廃棄物容器)
(詳細はP17、31)

綿球またはガーゼパッド

絆創膏

「シンポニー®治療日記」

●体調管理

注射前に、ご自身の体調を確認しましょう(詳細はP3、4)。

! 体調が悪いときは無理に注射せず、医師または看護師にご相談ください。

6

シンポニー皮下注 50 mgシリンジ

オートインジェクターについては P.16 以降を参照ください。

シリンジ

ステップ1

注射の準備

お薬を置く机はあらかじめ
ふいておきましょう。



① ケースを確認します。



はじめに、冷蔵庫からシリンジのケースを取り出します。
注射する少なくとも30分前に冷蔵庫から
取り出してください。

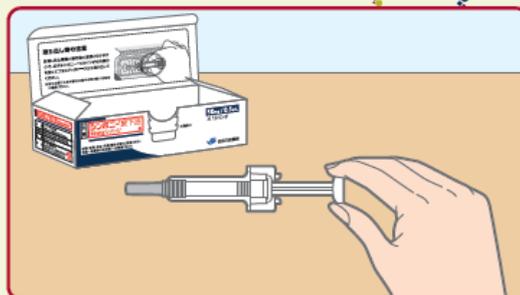
7



ケースの側面に記載されている使用期限を確認します。

！使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
！医療関係者が確認のために開封したなどの場合を除き、
ケースのミシン目が破れている場合は使用しないでください。

上記にあてはまる場合は、医師または薬剤師、
医療機関にご連絡ください。



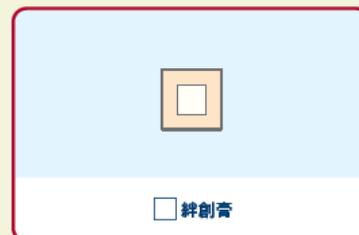
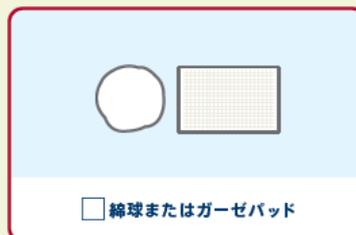
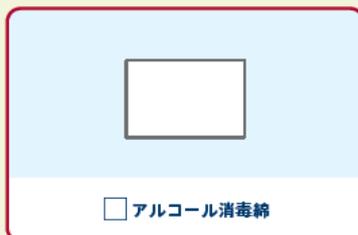
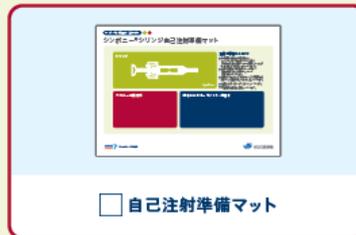
ケースを開封してシリンジを取り出し、シリンジが破損して
いないことを確認します。薬液確認窓に記載された使用期限を
確認します。シリンジをテーブルや処置台の上などの平らな
場所に置き、注射する前に少なくとも30分室温に置きます。

！使用期限が切れたお薬は使用しないでください。
！電子レンジなどでシリンジを温めないでください。
！シリンジを振らないでください。

置き忘れに注意してください。また、お子さまの手が届かない場所に置いてください。

8

② シンポニー®の注射に必要な備品を自己注射準備マットに並べます。



自己注射準備マットをしき、イラストの上に自己注射に使用する備品一式を並べてください。

9

シリンジの各パーツの名称と、取り扱い注意事項を確認しましょう。



< 取り扱い注意事項 >

- プランジャーを押すと薬液が出ます。
絶対にプランジャーを押さえたり、引っ張ったりしないでください。
- 注射が終わると、セーフティガードが作動し、自動的に針がシリンジの本体の内部に入ります。
- 針を刺す際は、フィンガーフランジの下の本体を持ちます。
- 薬液確認窓から、薬液を確認することができます。
- 針カバーは、注射の準備が整い、実際に注射する直前まで外さないでください。

10



③ 注射部位を選びます。

注射する 部位の確認



下腹部



太ももの前部



腕の後ろ側

下腹部に注射する場合は、おへその周り5cm内には注射しないでください。
腕の後ろ側にも注射することができます。この場合は介護される方などが注射してください。

！ 押して痛みを感じる部位、あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。
！ 傷痕または皮膚線条（肉割れ）がある皮膚にも注射しないでください。

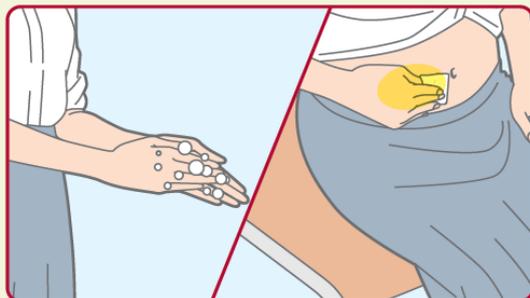
同じ箇所を繰り返し注射しないでください。



11



④ 注射部位を 消毒します。

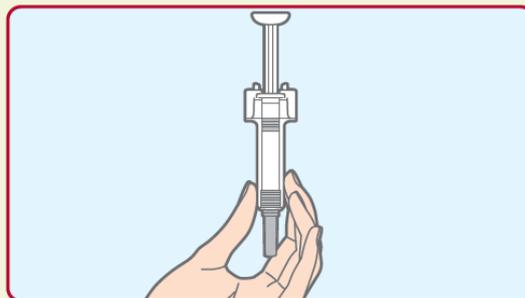


手を石鹸と流水でよく洗いましょう。
清潔なタオルで手をふいてください。
アルコール消毒綿で注射部位をふいて、
乾燥するまで待ちます。

！ 消毒した後は、注射部位に触れたり、風をあてたり、
息を吹きかけたりしないでください。



⑤ 薬液の状態を 確認します。



次に、シリンジの薬液確認窓から薬液を確認します。
薬液は無色もしくは淡黄色の透明な液で、白色または透明の
微粒子を含む場合があります。
シリンジ内に気泡が認められることがありますが、
正常な状態です。

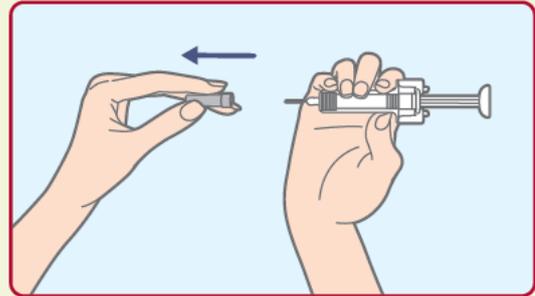
！ 薬液が漏っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。
医師または薬剤師、医療機関に連絡して、代わりのシリンジを受け取ってください。

12

冷蔵庫からお薬を
取り出してから、
30分がたちました。
注射を始めます。



① 針カバーを
取り外します。



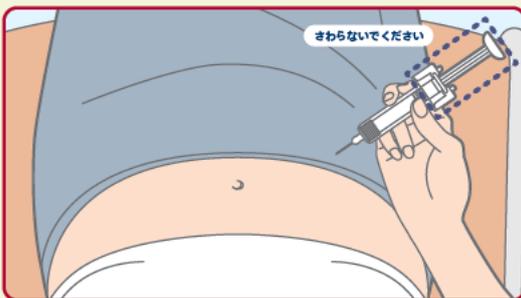
はじめに、針カバーを外します。
シリンジ本体を持ち、針カバーをまっすぐに外します。
液体のしずくが落ちることがありますが、問題ありません。

- ! 注射直前まで針カバーを外さないようにしてください。
- ! 針カバーは付け直さないでください。誤って指に針を刺してしまう危険があることに加え、針を損傷させてしまう可能性があります。
- ! 針にさわらないでください。また、針先には何も触れないようにしてください。
- ! 針が曲がっていた場合や、シリンジを落とした場合は使用しないでください。医師または薬剤師、医療機関に連絡して、指示にしたがってください。

13

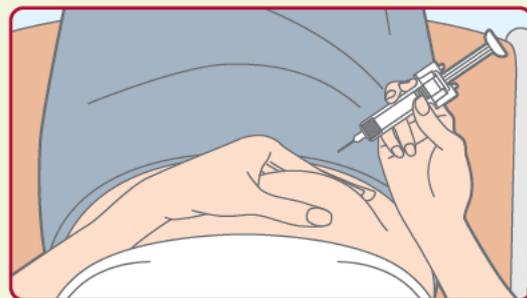


② 注射器を持って、針の角度を確認し針を刺します。



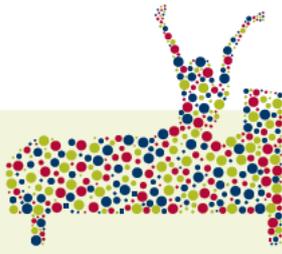
親指、人差し指と中指を、
フィンガーフランジのすぐ下に置きます。

- ! ブランジャー部分またはフィンガーフランジより上の部分にはさわらないでください。
- 針のセーフティガードが作動する可能性があります。

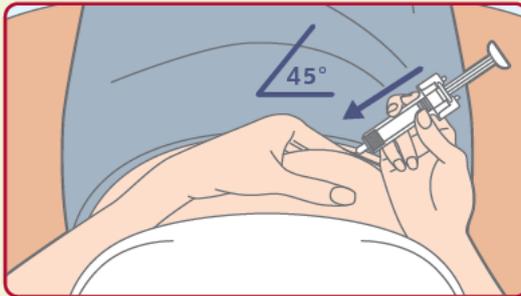


そして、もう一方の手で、注射部位をつまみます。
皮膚をしっかりとつまんで、筋肉内ではなく、
皮下に注射できるようにします。

14



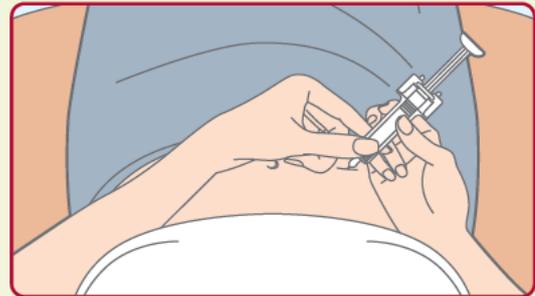
③ 皮膚をつまんだ手を放し、シリンジに持ちかえます。



皮膚に対して約45°の角度で、針をあてます。まっすぐに押し出すイメージで、針を刺入します。

理由：筋肉内ではなく、皮下に注射できるようにするため。

注射針を刺したときに激痛を感じたり、血液が逆流した場合、すぐに針を抜き、部位を変えて注射してください。



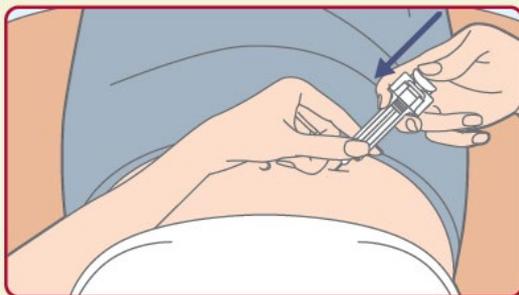
皮膚をつまんでいた手をゆっくりと放します。その指で、シリンジの本体をつかみます。

！プランジャーを後ろに引かないでください。プランジャーが外れてしまったり、セーフティガードが誤作動を起こしてしまう可能性があります。

15



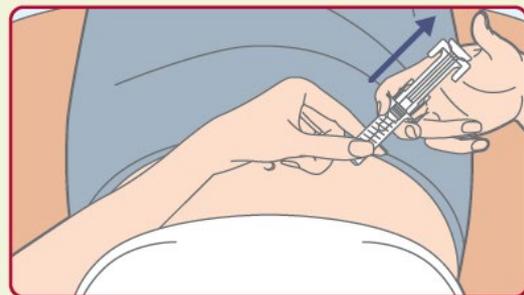
④ プランジャーを押します。



フィンガーフランジのすぐ下に置いていた親指をプランジャーにあて、プランジャーが奥に達して止まるまで、ゆっくり皮下に注入を続けます。最後まで完全に押し切ってください。



⑤ プランジャーを押していた指の力を抜きます。



プランジャーを押していた指から力を抜くと、プランジャーが押し戻され、注射針が皮膚から抜かれます。同時にセーフティガードが針をカバーし、固定されます。投与後に薬液の数滴のしずくがみられることがありますが問題はありません。

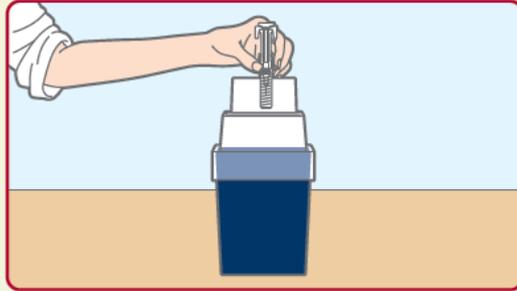
これで注射が完了です。

シンボニー®を100mg注射する場合は、続けて2本目を同じ手順で注射します。

16



① 使い終わったシリンジを廃棄します。



使い終わったシリンジや針カバーは、
医療廃棄物容器にすぐに廃棄します。

- ! 使い終わったシリンジは分解しないでください。
- ! 使い終わったシリンジは再利用しないでください。
- ! 使い終わったシリンジや医療廃棄物容器には
お子さまが手を触れないようにしてください。
- ! シリンジや外した針カバーを家庭用のゴミ箱に捨てないでください。

医療廃棄物容器の処理方法



使い終わったシリンジは、取り扱いには十分に注意し、
医療廃棄物容器に入れて医師または薬剤師、
医療機関の指示にしたがって廃棄してください。

17



② 注射部位を確認します。



注射部位をアルコール消毒綿で軽く押さえます。
少量の出血または薬液がみられる場合は、
アルコール消毒綿、綿球または
ガーゼパッドで皮膚を押さえます。
必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼ります。

- ! 注射部位をこすったりもんだりしないでください。

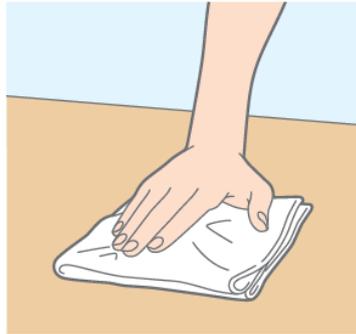
注射後に副作用(P3、4参照)があらわれたら、
すぐに医師や看護師にご連絡ください。
何日かたってから副作用があらわれた場合も、
同じく医師にご連絡ください。

連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。



18

お薬を置く机はあらかじめ
ふいておきましょう。



① オートインジェクターを
取り出します。



冷蔵庫からケースを取り出します。次に、ケースを開封して
オートインジェクターを取り出します。

オートインジェクターを室温で、平らな場所に
少なくとも30分置きます。置き忘れに注意してください。

! オートインジェクターを電子レンジなどで温めないでください。

! オートインジェクターを振らないでください。

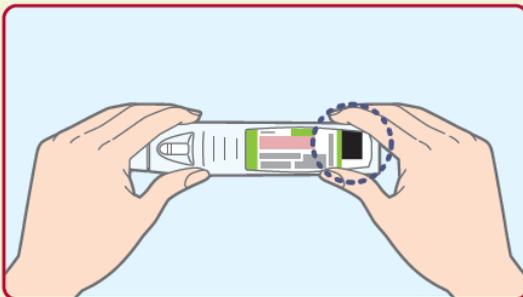
! オートインジェクターを冷凍しないでください。

お子さまの手が届かない場所に置いてください。

21

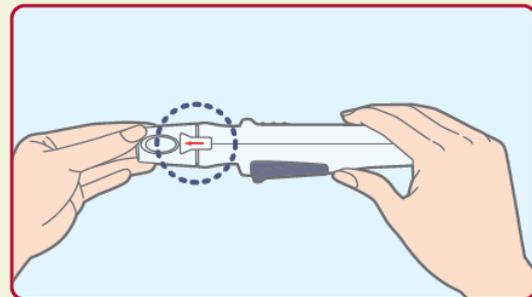


② オートインジェクターを
確認します。



オートインジェクターの背面に記載されている
使用期限を確認します。

! 使用期限が切れている場合は、使用しないでください。



キャップに貼られているセーフティシールが
破れていないことを確認します。

! シールが破れている場合は、使用しないでください。

これらにあてはまる場合は、医師または薬剤師、
医療機関にご連絡ください。



22

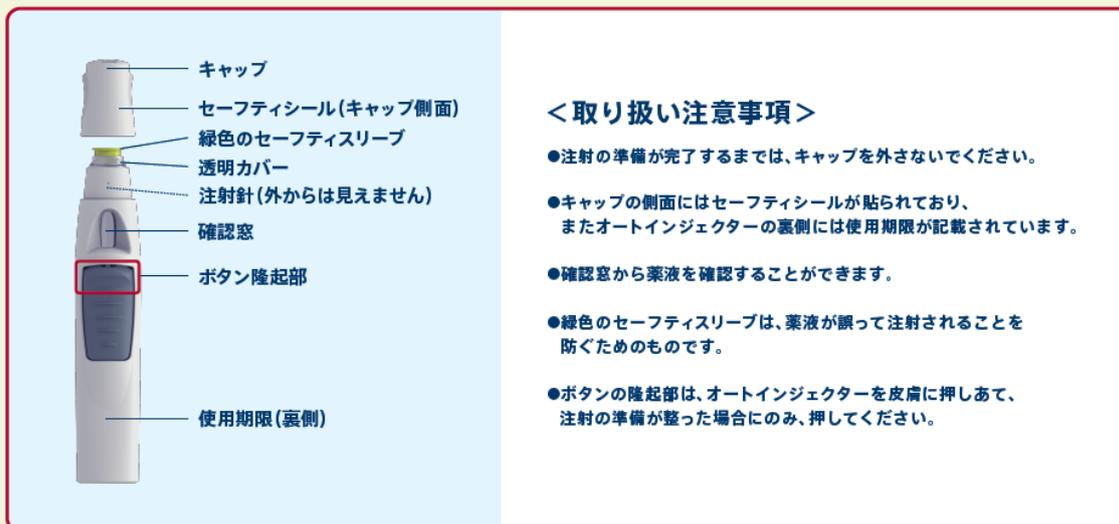
③ シンボニー®の注射に必要な備品を自己注射準備マットに並べます。



自己注射準備マットをしき、イラストの上に自己注射に使用する備品一式を並べてください。

23

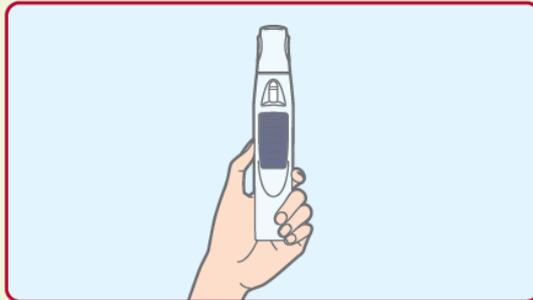
オートインジェクターの各パーツの名称と、取り扱い注意事項を確認しましょう。



24



④ 薬液の状態を確認します。

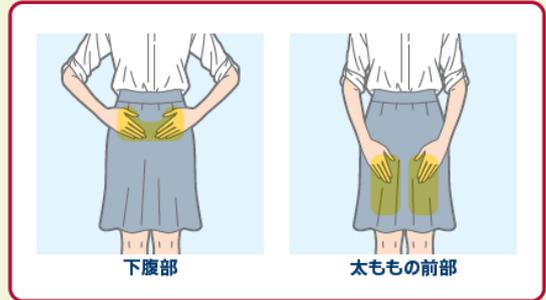


冷蔵庫から取り出して30分程が経過したら、確認窓から薬液を確認します。
薬液は無色もしくは淡黄色で、白色または透明の微粒子を含む場合があります。
気泡が認められることがありますが、正常な状態です。

! 薬液が濁っていたり、変色していたり、異物がある場合には注射しないでください。
医師または薬剤師、医療機関に連絡して、代わりのオートインジェクターを受け取ってください。



⑤ 注射部位を選びます。



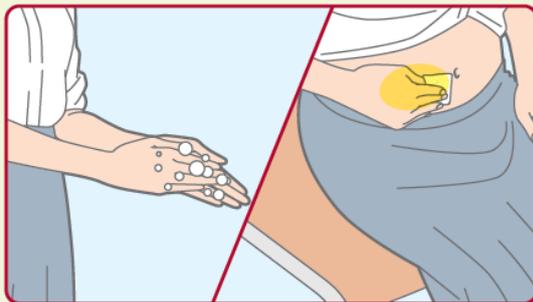
下腹部に注射する場合は、おへその周り5cm内には注射しないでください。
太ももの前部への注射は皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんの場合では避けてください。腕(上腕部)には注射しないでください。

! 皮下脂肪の薄い部位は避け、皮下に注射が可能となる部位をお選びください。
皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんの場合は、下腹部へ注射してください。皮下脂肪が少ない(痩せた)患者さんの場合は、皮膚をつまんで注射してください。その際、つまんだ指に針が刺さらないように十分注意してください。皮下脂肪の薄い部位への注射により、注射針先端が骨などの固い組織に接触して針先の曲がりが生じ、針が抜けにくくなる事例が報告されています。関節や骨などの固い組織から離れている部位に投与してください。押して痛みを感じる部位、あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。傷痕または皮膚線条(肉割れ)がある皮膚にも注射しないでください。同じ箇所を繰り返し注射しないでください。

25



⑥ 注射部位を消毒します。

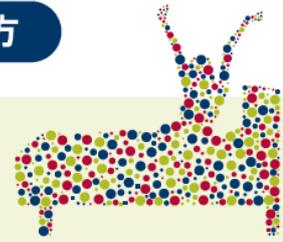


手を石鹸と流水でよく洗いましょう。
清潔なタオルで手をふいてください。
アルコール消毒綿で注射部位をふいて、乾燥するまで待ちます。

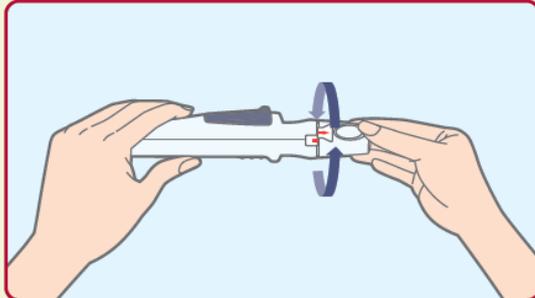
! 消毒した後は、注射部位に触れたり、風をあてたり、息を吹きかけたりしないでください。



26

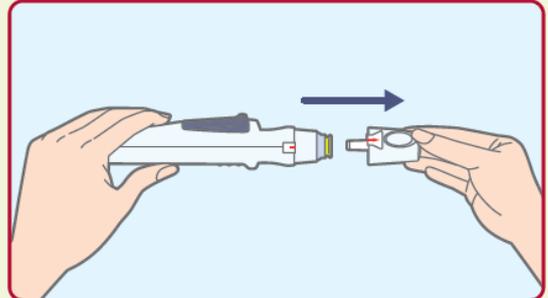


① キャップを外します。



はじめにキャップをひねってセーフティシールを破り、キャップをまっすぐに外します。

！注射直前までキャップを外さないようにしてください。



キャップをすぐに捨ててください。
薬液のしずくがみられることがありますが問題はありません。

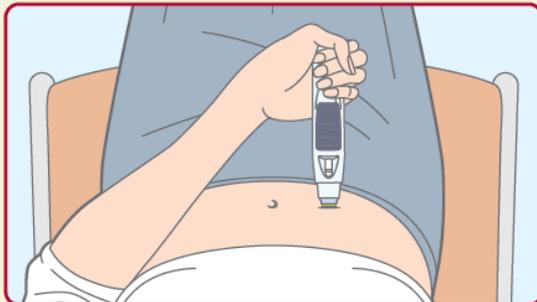
！針を破損させるおそれがありますので、キャップは付け直さないでください。

！キャップを外した後にオートインジェクターを落とした場合には、使用しないでください。医師または薬剤師、医療機関に連絡して、指示にしたがってください。

27



② 注射位置を決めます。



ボタンに触れないようにオートインジェクターを持ち、皮膚に垂直にあてます。

注射部位ができるだけ平らな状態であること、緑色のセーフティスリーブが皮膚にぴったり付いていることを確認してください。

！注射する位置を決めている最中は、ボタンに触れたり押ししたりしないでください。



③ 皮膚に押しあてます。



オートインジェクターを皮膚に押しあてると、緑色のセーフティスリーブが透明カバー内にスライドします。

！皮膚にオートインジェクターを押しあてている間は、ボタンに触れたり押ししたりしないでください。

！注射部位に強く押しあて過ぎないでください。緑色のセーフティスリーブが透明カバー内に収まる程度に押しあててください。

28



④ ボタンを押して待ちます。



オートインジェクターを皮膚に押しあてたまま、もう一方の手で、ボタンの隆起部を押します。1回目のカチッという音が鳴り、薬液の注入が始まります。

！オートインジェクターはまだ押しあてたままにしてください。持ち上げると、薬液がもれることがあります。

ボタンを押し続ける必要はありません。



⑤ 2回目のカチッという音が鳴ります。



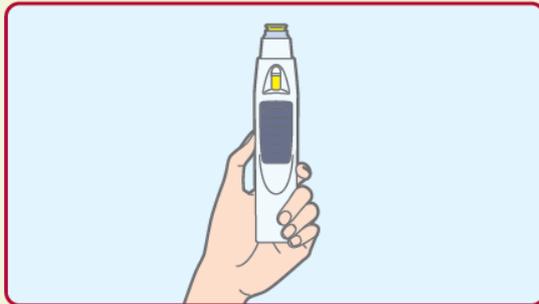
2回目のカチッという音が鳴るまで3～15秒、オートインジェクターを皮膚に押しあてたままにします。2回目のカチッという音が鳴ったら注射は終了です。オートインジェクターを皮膚から離してください。

カチッという音が聞き取れない場合は、ボタンを押してから15秒数えた後にオートインジェクターを皮膚から離してください。投与後に薬液のしずくがみられることがありますが問題はありません。

29



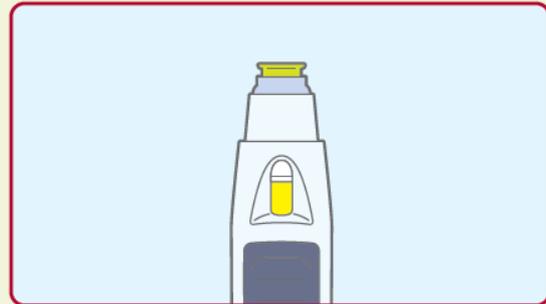
⑥ 確認窓をチェックします。



オートインジェクターを皮膚から離します。確認窓に黄色の表示が見えることで、オートインジェクターがきちんと動作したことを確認します。

注射が完了したら、黄色の表示が確認窓のおよそ半分の位置に表示されます。黄色の表示が揺れたり、確認窓に少ししか黄色の表示が見えない、または確認窓のほとんどに黄色の表示が見える場合も、正常に注射は終了しています。

シンボニー®を100mg注射する場合は、続けて2本を同じ手順で注射します。



確認窓に黄色の表示が見えない場合は、シンボニー®サポートセンター(0120-362-372)までご連絡ください。

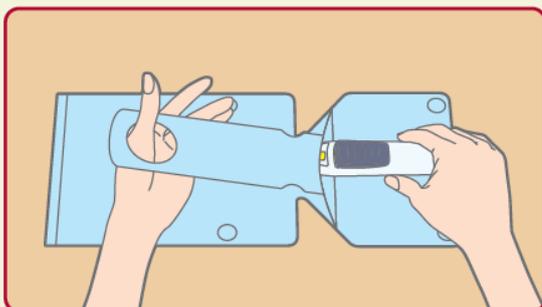
！医師に相談することなく、ご自身の判断で2回目の注射をしないでください。



30



①使用済みのオートインジェクターを廃棄します。



使用済みのオートインジェクターは、
医療廃棄物容器にすぐに廃棄します。

- ! 使用済みのオートインジェクターや医療廃棄物容器にはお子さまが
手を触れないようにしてください。
- ! 使用済みのオートインジェクターを家庭用のゴミ箱に捨てないでください。

医療廃棄物容器の処理方法



- 使用済みのオートインジェクターは、
● 取り扱いには十分に注意し、
● 医療廃棄物容器に入れて医師または薬剤師、
● 医療機関の指示にしたがって廃棄してください。

31



②注射部位を確認します。



注射部位をアルコール消毒綿で軽く押さえます。
少量の出血または薬液がみられる場合は、
アルコール消毒綿、綿球または
ガーゼパッドで皮膚を押さえます。
必要に応じて、注射部位に絆創膏を貼ります。

- ! 注射部位をこすったりもんだりしないでください。

注射後に副作用(P3.4参照)があらわれたら、
すぐに医師や看護師にご連絡ください。
何日かたってから副作用があらわれた場合も、
同じく医師にご連絡ください。

連絡先をこの冊子の裏面に記入しておきましょう。



32